



重複排除の構成

この章では、Cisco NX-OS デバイスで重複排除を構成する方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [重複排除について \(1 ページ\)](#)
- [注意事項と制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [重複排除の構成 \(3 ページ\)](#)

重複排除について

Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降では、重複排除機能を使用して、Nexus データ ブローカー (NDB) のスイッチを通過するデータ フローの重複コピーを削除できます。

データフローが継続的に増加すると、ネットワーク内を移動し、異なるアプリケーションで処理されたデータが、ソースとターゲットの両方でデータの重複につながります。効率的なデータ管理、セキュリティ、およびストレージのために、重複排除を使用して重複データを削除できます。

重複排除機能は、トラフィック アナライザまたはデータ ストレージ ツールから受信した重複トラフィックを排除します。この機能は、NDB スイッチで転送される重複フローを識別します。重複排除は、次の 2 つのモデル タイプをサポートします。

- インライン重複排除モデル (インターフェイス モード)

既存の NDB スイッチでインライン モデルを構成できます。これにより、インターフェイスを通過する重複パケットが排除されます。最初のインターフェイスパケットは転送されますが、その後で他のインターフェイスから来た重複インターフェイスパケットはドロップされます。

- スティック モデル重複排除 (VLAN モード)

このモデルでは、パケット フローは特定の VLAN にバインドされます。パケット フローは最初の VLAN では許可されますが、他の VLAN を通る重複フローは制限されます。フローが NDB スイッチに入ると、パケットは特定の VLAN にタグ付けされます。各パケットには一意の VLAN がタグ付けされます。VLAN タグが付いたパケットは重複排除スイッチに転送され、重複したフローはそのスイッチで削除されます。

注意事項と制約事項

次に、重複排除の注意事項と制限事項を示します。

- 重複排除は、内部パケット フローに対してのみ構成できます。
- TCP および UDP フローがフロー重複排除でサポートされます。
- 重複排除は、ローカル SPAN および光 TAP フロー セッションでサポートされます。
- 重複排除は、単一カプセル化された VXLAN および GRE トンネル パケットに対して実行できます。
- 重複排除は、Cisco Nexus 9300-FX2/FX3 および 9300-GX/GX2 拡張スイッチでサポートされています。
- 次のデバイスでは、重複排除はサポートされていません。
 - Cisco Nexus 9500 プラットフォーム スイッチ
 - Cisco Nexus 9300-C、9300-EX、9300-FX および EOR スイッチ
 - Cisco N9K-C9408 スイッチ
- ERSPAN などの同一インターフェイスで重複パケットの重複排除を設定することはできません。インターフェイスまたは SVI で複数の ERSPAN セッションを終了させる場合があります。これは、同じフローのコピーが同じインターフェイスまたは VLAN に到達するかどうかに影響します。スイッチは、重複排除の際に異なる ERSPAN セッションを区別できません。
- 存続期間が短いフローの複製フローは削除できません。
- 類似した 5 つのタプルを持つ異なる VRF からのフロー パケットは削除できません。重複排除は、パケットの 5 タプルを使用して実行されるフロー用だからです。VRF パケットは識別できません。
- 重複排除スティック モデル (VLAN モデル) は、トンネル終端および Q-in-Q ポートではサポートされません。
- 重複排除は、IPv6 およびマルチキャスト フローではサポートされません。
- ダイナミック エージングは 128k フローでのみサポートされています。
- ISSU 中、重複排除はデフォルトで無効になります。ISSU 後すべてのフローがクリアされ、更新されます。
- トンネルトラフィックで重複排除を適切に機能させるには、フロー終了を有効にする必要があります。

重複排除の構成

Cisco NX-OS リリース 10.4(1)F 以降では、重複排除機能を使用して、Nexus Data Broker（NDB）のスイッチを通過するデータフローの重複コピーを削除できます。

構成の変更を有効にするには、重複排除を構成した後にスイッチをリロードしてください。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **tap-aggregation flow-deduplication**
3. （任意） **absolute-timertime in minutes**
4. （任意） **dynamic-timertime in milli seconds**
5. **mode {vlan|interface}**
6. **clear hardware deduplication statistics {slot|module in number}**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	tap-aggregation flow-deduplication 例： <pre>switch(config-dedup)#</pre>	スイッチでフロー重複排除機能を有効にします。
ステップ 3	（任意） absolute-timertime in minutes 例： <pre>switch(config)# absolute-timer 10 switch(config-dedup)#</pre>	パケットフローの重複排除に絶対タイマーを構成できます。間隔の範囲は 0 ～ 1440 分です。
ステップ 4	（任意） dynamic-timertime in milli seconds 例： <pre>switch(config)# dynamic-timer 2000 switch(config-dedup) mode interface#</pre>	パケットフローの重複排除に動的タイマーを構成できます。間隔の範囲は 0 ～ 300000 ミリ秒です。
ステップ 5	mode {vlan interface} 例： <pre>switch(config)# interface switch(config-dedup)#</pre>	必要なモードで重複排除を構成できます。 （注） スイッチで重複の削除を構成するには、構成を保存してスイッチをリロードしてください。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	clear hardware deduplication statistics {slot module in number}	必要なスロットまたはモジュールの重複排除をクリアします。モジュール番号の範囲は 1 ～ 30 です。

例

次に、参考までに出力例を示します。

```
switch# show hardware deduplication summary
slot 1
=====
Deduplication      : Enabled
Dedup Mode         : Interface
Dynamic timer      : 200000 milliseconds
Absolute timer     : 5 minutes
Max Supported Flows : 240K
Total number of learned flows : 240000
Total number of dropped bytes : 65698869600

switch# show hardware deduplication detail
slot1
=====
Dedup Flows
=====
SourceIP  Destination IP  Ports(Src:Dst) Protocol  Interface  Learn-time
=====
33.1.1.2  12.1.1.2       3000 :3001   6  Eth1/1  07/28/2023 11:47:09.532376
55.1.1.2  12.1.1.2       15000:15001 17  Eth1/1  07/28/2023 11:47:09.532229
11.1.1.2  12.1.1.2       1841 :1842   6  Eth1/1  07/28/2023 11:47:09.532340
1.22.1.2  1.12.1.2       2000 :2001   6  Eth1/1  07/28/2023 11:47:09.532428
1.44.1.2  1.12.1.2       4000 :4001   6  Eth1/23 07/28/2023 11:47:09.532133

switch#show hardware deduplication age-history
slot 1
=====
Dedup Flows
=====
Source  Destination Ports  Protocol Interface Timer  Learn-Time  Aged-Time
IP  IP  (Src:Dst)
=====
1.44.1.2 1.12.1.2  4000:4001 6  Eth1/17 Dynamic  08/05/2023 2:24:49.26020 08/05/2023
12:33:29.21904
33.1.1.2 12.1.1.2  3000:3001 6  Eth1/27 Dynamic  08/05/2023 12:24:49.126246
08/05/2023 12:33:29.21945
55.1.1.2 12.1.1.2  15000:15001 17 Eth1/5 Dynamic  08/05/2023 12:24:49.26070
08/05/2023 12:33:29.21957
1.22.1.2 1.12.1.2  2000 :2001 6  Eth1/5 Dynamic  08/05/2023 12:24:49.26115
08/05/2023 12:33:29.21969
11.1.1.2 12.1.1.2  1841 :1842 6  Eth1/17 Dynamic  08/05/2023 12:24:49.25949
08/05/2023 12:33:29.21979
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。